

令和7年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第23回研修を開催しました！

令和7年12月19日、盛岡市において第23回目の研修を実施しました。

今回の研修は、岩手県の農業の現状と将来の展望に関する講義と、消費者に選ばれるための実践的な販売戦略に関する講義を行いました。

研修の前半では、岩手県農林水産部農業普及技術課の鈴木茂寿総括課長を講師にお招きし、「岩手県農業の魅力と皆さんに期待すること」と題して、岩手県の農業の歴史やいわて県民計画に基づく次世代を見据えた農業の展開、農業政策をめぐる動向についてご講演いただきました。岩手県はカロリーベースの食料自給率が109%（全国6位）と高く、日本の食料供給基地として重要な役割を担っていることや担い手の確保などの政策について学びました。

研修の後半では、ブランドストーリー合同会社の大平恭子代表を講師に迎え、『『美味しい』だけではない『選ばれる野菜』の届け方』をテーマに、実践的な販売戦略について学びまし

た。消費者のニーズが「新鮮さ」から「価格」や「簡便さ」へ変化している現状を踏まえ、いかに消費者に響く「売り方」をするかが重要であると強調されました。講義中には、受講生からSNSを利用した情報発信方法や、すでに産直で販売している方からは販売における具体的な課題についての相談があり、講師から直接、実践的な対策を指導いただく場面もありました。例えば、不揃いな野菜でもストーリーを付加して価値を伝えること、「1袋で副菜3品」といった具体的なメリットを提示する方法などが紹介されました。

今回の研修を通じて、受講生は岩手県農業の全体像と、具体的な販売戦略の両面から深い知識を得ることができました。

次回の研修は、令和8年1月16日（金）と17日（土）に、盛岡市内の研修施設において研修報告発表会の予告演習を実施予定です。



講義「岩手県農業の魅力と皆さんに期待すること」



講師：岩手県農林水産部農業普及技術課
鈴木 茂寿 総括課長



講義『『美味しい』だけではない
『選ばれる』野菜の届け方』の様子



講師：ブランドストーリー合同会社
大平 恭子 代表